

設定した解決したい課題

愛知県は2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指しており、民間企業等に率先して、温室効果ガス削減につながる取組を進めることが求められている。このため、県有施設のエネルギー使用状況の可視化と分析を通じ、県の事務自事業に係る温室効果ガスを削減する。

解決の方向性（採択企業との協議結果）

県有施設の過去のエネルギー関連データをもとに、分析対象となる施設を絞り込み、それら施設に事業者が測定機器（e-dash Realtime）を設置し、その測定結果を対象施設間で比較することで、温室効果ガスの削減に係る要因分析を行い、削減取組を立案する。



これまでの活動成果（現状報告）

- ✓ 9月に県の保有するエネルギー関連データを事業者側で分析。その結果をもとに、効果的な取組を検討できそうな施設群を抽出した。
- ✓ 10月に担当課にて実際に測定機器を置くための施設側との調整を行うとともに、事業者にて必要な機器の手配を進めた。

現状と今後の方針

- ✓ 11月より設置機器を用いた施設での新規データの収集を開始する。
- ✓ データの収集結果を見ながら分析を進める。
- ✓ 効果的な取組の立案に資する洞察を生み出せるようチーム全体でフォローする。



実証実験の計画

方法：測定機器（e-dash Realtime）を用いてデータを収集し、その結果を分析し、取組の立案につなげる。

期間：2023年11月下旬～12月下旬（予定）

評価：取組案の想定効果試算、効果的な取組案件数